



平成24年にスタートした下関市のコミュニティ・スクールも、今年度で8年目を迎えました。地域連携教育エリアアドバイザーとして、今年度から、市内全域の市立小・中学校の「学校運営協議会」や「ふるさと下関協育ネット(学校応援団)」の会議や行事・活動に、多く参加させていただいています。小・中・高等学校を問わず、どの校区においても仕組みを活用した活発な活動が実践されており、各校区の学校・家庭・地域の連携・協働の熱い思いを感じています。また、学校が地域の核となり、地域づくりにも役立つことを願っています。

## 下関市の推進構想

### 下関市コミュニティ・スクールの歩み

下関市では、「下関市コミュニティ・スクール運営要綱」(平成24年4月1日施行)を定め、平成24年度中に市立全小・中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。各学校においては、学校の課題解決に向けて、地域住民、保護者や教職員による熟議の開催や様々な支援活動が行われるなど、「地域とともにある学校」をめざした特色ある取組が進められてきました。

そして、平成26年7月には「下関市学校運営協議会規則」を定め、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて市内全小・中学校に学校運営協議会を設置いたしました。

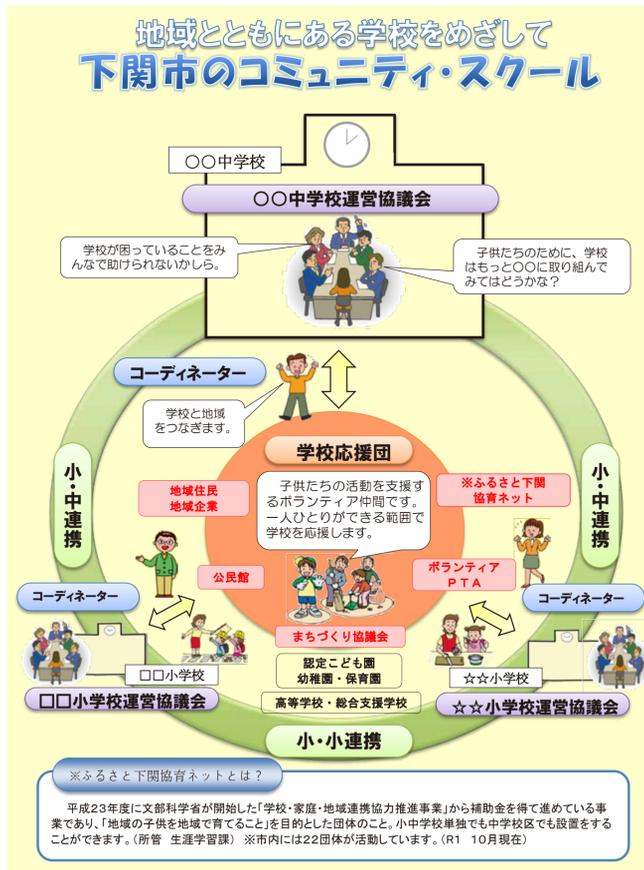
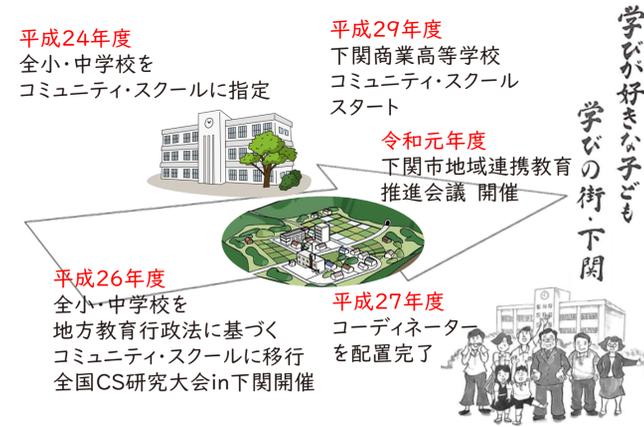
さらに、平成26年8月5日に、「全国コミュニティ・スクール研究大会in下関」を開催し、全国各地から、1,300人を超える方々の参加があり、関係団体、学校関係者の協力を得て、盛会のように幕を閉じることができました。

平成27年度には、市内全ての小・中学校にコミュニティ・スクールコーディネーターの配置が完了しました。コーディネーターの活躍により、学校と地域のお互いのニーズが効率的かつ的確に集約され、学校と地域のつながりがより密接になりました。その結果、中学校区での小・中合同熟議の開催、学校行事への地域の方々の参加、学校による地域の方々を対象にした公開講座など、学校と地域が一体となり、「地域社会総がかりによる教育」を進めてきました。

平成29年度は、下関商業高等学校のコミュニティ・スクールがスタートし、地域や企業との連携を通じて教育内容の充実を図るとともに、地域の活性化をめざしているところです。

本年度は、平成30年度から準備を進めてきた下関市地域連携教育推進会議を開催し、下関市の全ての地域において、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした取組及び地域連携教育の充実が図られるよう、学校や家庭、地域及び行政との連携・協働による取組方策に関する協議を行っています。

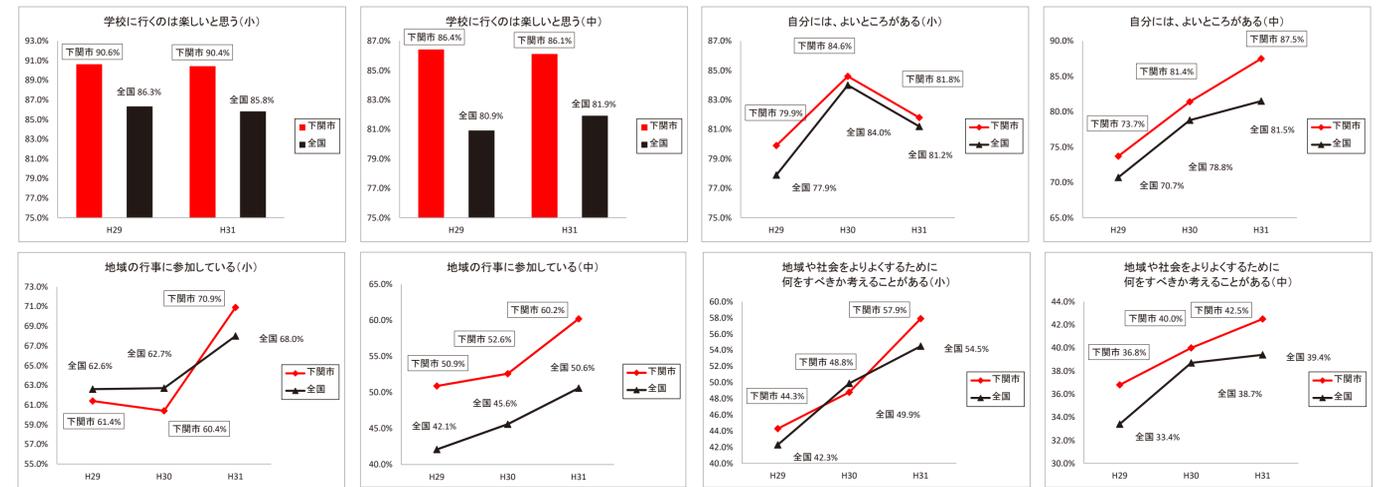
下関市教育委員会では、引き続き、「学びが好きな子ども 学びの街・下関」の実現に向け、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進めていきます。



【全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙より】

### 成果と課題

**成果** 【全国学力・学習状況調査学校質問紙より】  
本市では、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対し、肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国平均を大きく上回っています。また、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対し、肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国平均を上回っており、特に、中学生においては、増加傾向にあります。  
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の2つの質問に対し、肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国平均を大きく上回っているとともに、増加傾向にあります。



【全国学力・学習状況調査学校質問紙より】

「保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか」という質問に対し、肯定的な回答をした学校の割合は100%であり、全ての下関市立小・中学校が「保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がある」と回答したこととなります。

【「やまぐち型地域連携教育」の取組による成果検証に係る調査及び下関市地域連携教育戦略会議より】

**課題** (1)コミュニティ・スクールの理解度(目的やよさの理解) (2)学校教育と社会教育の連携・協働体制

### 課題解決に向けた取組

- 課題解決に向けた重点取組事項
  - (1) コミュニティ・スクールの理解度(目的やよさの理解)
    - 各校における情報発信に向けた取組⇒地域連携担当教職員研修会における情報発信に係る研修
    - 各校における子ども・保護者・地域住民に向けたプレゼン機会の創出⇒プレゼン資料の作成
    - 地域住民に対する広報活動⇒市報を活用しての広報活動
  - (2) 学校教育と社会教育の連携・協働体制
    - 下関市地域連携教育推進会議の開催 ⇒ 学校・家庭・地域・行政代表者(関係市長部局を含む)

- 重点取組事項の進捗を図る指標(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙による)
 

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合」

#### 市報への掲載



## 下関市立勝山中学校、勝山小学校、一の宮小学校

まちづくり協議会と連携した絵本づくり



勝山地区では、まちづくり協議会と連携して「かつやま絵本」を作成しています。今年は、お手玉遊びなど、勝山地区に伝承されてきた昔の遊びを取り上げ、絵本にしました。

## 下関市立吉見中学校、吉見小学校、吉母小学校、蓋井小学校

まちづくり協議会と連携した恐竜壁画アートづくり



私たちにとても身近な毘沙ノ鼻に恐竜がいたことに驚きましたが、古代の様子を想像しながら自由に楽しく描きました。この壁画がずっとここに残っていくと思うと感慨深いです。

## 下関市立室津小学校

地区社会福祉協議会と連携した「ふれあい会食会」



地域の高齢者の方を招いて「ふれあい会食会」を行いました。授業参観の後、地区社協関係者やボランティアの協力を得て、一緒に給食の準備を行いました。会食を通して会話が弾み、笑顔の輪が広がりました。

## 下関市立小串小学校

公民館と連携した「読み聞かせられ」



「緊張したけど最後まで読めました。(児童)」「本を読んでもらうなんて、〇十年ぶりだ。(地域)」と喜んでいただき、読み終わったところからは、楽しげな会話や質問が聞こえてきました。

## 下関市立川中中学校、川中小学校、熊野小学校

公民館・地域住民と連携した熟議



熟議への参加者86名が9グループに分かれて、ブレインストーミングの手法を用いてテーマについての意見交換を行いました。各グループごとに大判用紙にまとめた内容について児童生徒代表が発表しました。

## 下関市立王司小学校

広報戦略課と連携した市報掲載(取材の様子)



夏休みの学習教室「王司村塾」の様子です。児童たちが地域の方々の支援を受けながら、夏休みの宿題に取り組みました。その際、市報担当者の取材を受け、市報に掲載されました。

## 下関市立内日中学校、内日小学校

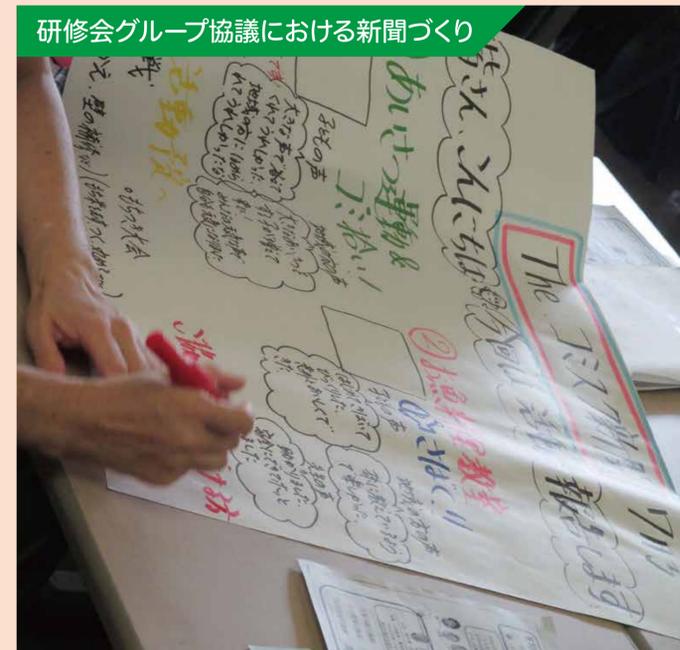
社会教育主事と連携した学校運営協議会出席



内日地区では小・中合同で学校運営協議会を実施しています。その中で「学びプロジェクト」「心プロジェクト」「健康プロジェクト」の3つのプロジェクト別に協議を行っています。

## 下関市教育委員会

研修会グループ協議における新聞づくり



8月に開催した「地域連携担当教職員研修会」では、担当教職員の役割の再確認とコミュニティ・スクールの仕組みの目的やよさを周知するための「コミスク新聞づくり」を行いました。